



第21回

地域おこし協力隊が行く！

実は隣のスゴイ人

曾於市内のスゴイ人にスゴイ人を紹介してもらうこのコーナー。前回のスゴイ人、菱ヶ迫さんにご紹介いただいたこの方は、「様々な地域活動にたくさん貢献しているスゴイ人」とのこと。インタビューア―は、三浦恭子でお届けします。

【今回のスゴイ人】

奥野 則夫 さん



今 今回お伺いしたのは、恒吉校区に住む奥野則夫さん。地元の仲間たちと「日輪会（恒吉にあった山城『日輪城』から由来）」を結成し、地域で精力的に活動されています。

日輪会は5年前に結成されたそうですが、その前から育成会やPTA、消防などそれぞれの場所で行く顔を合わせていたメンバーが集まったとのこと。「今は団体だからね、ちゃんと定例会として集まって、飲ん方するの（笑）。飲みながら語り合っって、大事だよ」と奥野さん。日輪会の定例会は会費制ではなく、一人一品持ち寄りで飲み物も持参。誰もが気兼ねなく集まれる場所となっています。

そこで話すのはやはり「地域を元気にしたい」ということ。恒吉地区では鬼火焚きやゴルフコンペ、そして校区民祭があつて、そこでは毎年寸劇をやっているそう。「演目は毎年違うんだけど、いつも台本なんてなくて、全部アドリブでね。飲みながら2、3回しか練習しないんだけど、みんな笑ってくれるから（笑）。どこの地域も過疎化してるけど、お年寄りが笑っていれば、地域もみんなも元気になるよ」と奥野さん自身、とても楽しそうに話してくれました。

みんなが笑っていれば、地域は元気になる。「地域おこし」の基本であり、一番大事なことを教えていただきました。わたしも奥野さんを見習って笑顔をやささずやっつていこうと思います！



協力隊の活動報告

こゆ財団主催の「地域を編集する学校」という全5回の講座に参加しています。宮崎県児湯郡新富町でコピーライターやブロガーの方、また地域デザインに携わっている方々の話を聞き、文章を書くなどの実践をしているのですが、目から鱗が出まくり、アドレナリンも出まくりな講義内容なんです。内容詳細知りたい方はぜひ、三浦までお声がけくださいね（笑）。わたし三浦は、協力隊になって今月でちょうど2年。任期はあと1年となりました。4年目も曾於市に残ってお金を稼いでいくための方法を今まで以上に考えないといけない…周りにも考えてもらわないといけない…と気を引き締める良い機会になっています。吸収したことを曾於市に還元できるよう、楽しいことには前のめりで頑張っていきたいと思います！



2018年2月17日（土）

三浦恭子